

ほつとねつと

発行: 日本木管コンクール委員会
〒673-1311 兵庫県加東市天神66
TEL 0795-47-1500

審査員の先生による 一次予選 講評

山本 正治 (東京藝術大学音楽学部教授) ◎審査委員長

今回聞いて演奏能力、表現能力凄く上がってきてると思う。美しいとは何だろう。美には自然の美、民族、時代の美、色々ある。ドイツの美、フランスの美、イーンの美、又時代によっても違う。作曲家によっても違う。クラシック音楽は作曲家の美から離れられないと思う。もう一つはキリスト協会との関係が大事だと思う。クラシックの有名な作曲家はキリスト教の人が多い。キリスト教の美も大切な事だと思う。バッハの職業は教会のオルガニスト、最高傑作の一曲は『マタイ受難曲』キリスト教のお話に音楽をつけた曲音楽の時代としてはバロックは大事な時代。

クラリネットはバロック時代の曲はほとんどないですが、その後の時代を理解する為にはバロック時代の演奏を聴く、又勉強する事は非常に大切だと思う。

西洋の人が何を大事にしているかを探す事が日本人が演奏する時とても大事だと思う。
基礎練習の仕方も変わって来るかもしれない。若い人の才能に期待します。



磯部 周平 (東邦音楽大学特任教授)

吹けるか吹けないか、良い音かどうか、…といった比較をする時代はいつの間にか過ぎ去り…多くの人がよく響いた音で、しっかり技術を持って演奏しています。

審査する側からすれば、どれだけ深く心を動かされたか?どれだけ聴いていて楽しかったか?…といった「音楽」の持つ本来の力を感じるまで良く、それほど困難は感じません。

それでも、残念ながら、本当の意味で心を揺り動かされる演奏が多くはなかったのも事実です。
先生から教えられたまま、または聴き覚えのルパート、そして自己過信のままでは人の心には届かないでしょう。自己との葛藤の中から生まれたパーソナルな音楽がどれだけ魅力的で心に染みる本当の音楽かが問われる時代に入ったのだ…と強く感じました。



十亀 正司 (東京藝術大学非常勤講師)

毎回レベルが上がっている本コンクール、今回も予想を上回るレベルで、一次予選が終了しました。予選を通過し本戦に残ることは至難の技と言わざるを得ません。そこで予選を通過する人と惜しくも落選してしまった人の違いはなんなのか?僕なりに感じた事をお話ししたいと思います。それは何と言っても与えられた作品を理解し、それを他人の言葉ではなく自分の言葉で聞いてくれている人に伝える事が出来るか出来ないかの違いだと思います。楽譜を自分の言葉で演奏している人は、その世界に聞いている人を引っ張りこんでいます。そんなレベルになってきたんだと、このコンクールの審査をして思いました。



澤村 康恵 (沖縄県立芸術大学准教授)

出場者の皆さんは一次予選の結果を受けて一喜一憂していることだと思います。日本木管コンクールも今年はレベルが一段と上がり、一次予選を突破することができます難しくなっていると感じました。音楽表現には多様な要素が関わっています。楽曲理解、演奏技術、感性 etc. 全体的なレベルが上がってきているからこそ、より総合的な完成度が求められるということでしょう。これからも健闘を祈ります。



松本 健司 (NHK交響楽団首席クラリネット奏者)

2日間の第一次予選を聴かせていただき、率直に皆さんの音が美しいと質の高い演奏にただただ感動しました。でも、ひとつ気になることがあります。奏でた音がはっきり聴き取ることができる方と、聴き取りにくい方がおられるのです。おそらく演奏者の耳の使い方の違いがこの聞こえ方の違いに結びついているのだと思いますが、自分の奏でた音を聴くアンテナを持っている奏者の音ははっきり聴き取ることができるのでしょう。自分で聴き取れない音は客席の聴衆にも聞こえるはずはありません。心当たりのある方は意識して自分の奏でた音を聴いてみましょう。



原田 綾子 (愛知県立芸術大学准教授)

一次予選の講評、ではないですが、感じたことを少しだけ。
十人十色…いろいろな境遇で育ち、学び、いろいろな考え方の人があります。
それを素直に受け止めて、自分に正直な演奏をすることが大事だと感じました。
メッキは必ず剥がれる。ステージの上ではすべてがさらされると思っています。



近藤 千花子 (東京交響楽団クラリネット奏者)

素晴らしい演奏をたくさん聴くことが出来ました。しかし厳しい倍率の中で、頭一つ抜き出るためには何が必要か。楽譜を通しての作曲家の意図、音色とテクニック、自己表現といった要素を、全てリンクさせた演奏をした方が、二次に進んだと思います。
また、選択曲5曲にそれぞれ持つ、違う表情に合った"時間と空間の演出"が出来ているかどうかが、私の中での評価基準となりました。



~加東市ふるさと納税(ふるさと応援活動支援金)のご協力をお願いいたします~

特定の団体(支援希望団体)に対する寄付の受付を開始しています。
QRコードをスマホ等で読み取っていただくと加東市ふるさと応援活動支援交付金交付制度のページにつながります。申請用紙については、ホームページからダウンロードできます。



特定の団体(支援希望団体)については、「特定非営利活動法人 新しい風かとう」にお願いします。

詳しくはホームページをご覧ください。

また、団体名をクリックしますと「特定非営利活動法人 新しい風かとう」のホームページをご覧いただけます。

~日本木管コンクール開催における協賛金・ご寄附にご協力をお願いいたします~

日本木管コンクールは、地元の企業や楽器メーカー各位をはじめ、コンクールを応援してくださる個人の皆様の温かいご寄付とご協賛支援に支えられて取り組んでまいりました。

「この素晴らしいコンクールと文化の灯を消してはならない」との思いと、若手音楽家の登竜門として、また日本の音楽文化の発展に寄与した功績をご理解いただき、今後もコンクールを継続するためにもご協力を仰ぎたいと考えております。

どうぞ、皆様の温かいご支援を宜しくお願いいたします。
詳しくは「特定非営利活動法人 新しい風かとう」又はQRコードを



HP

<http://cosmic-hall.org/>



加東市東条文化会館コス
ミックホール



加東市東条文化会館・コスミックホール